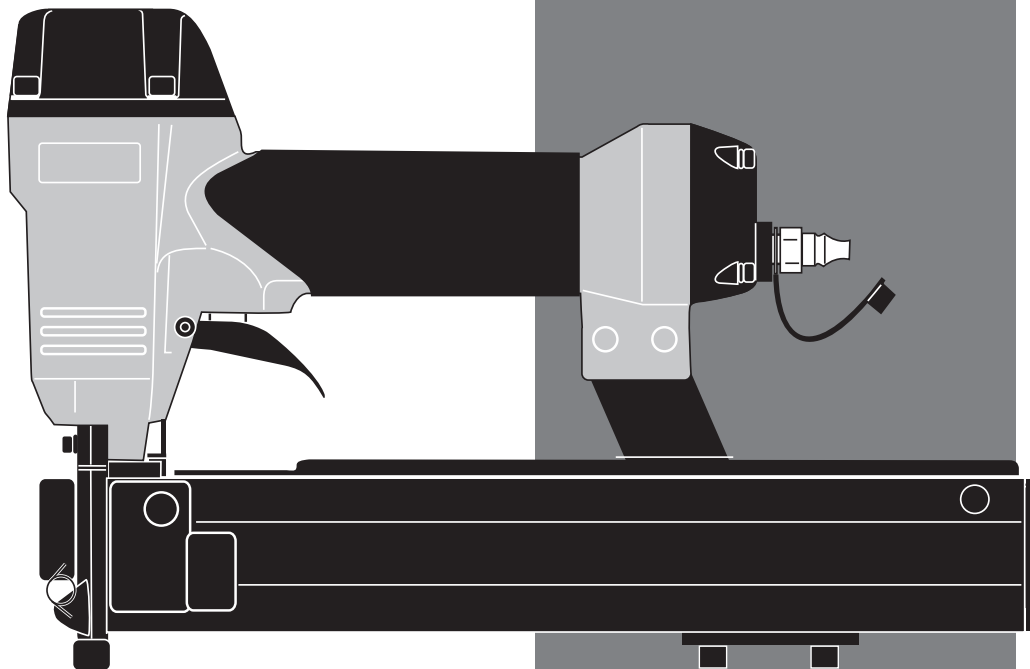




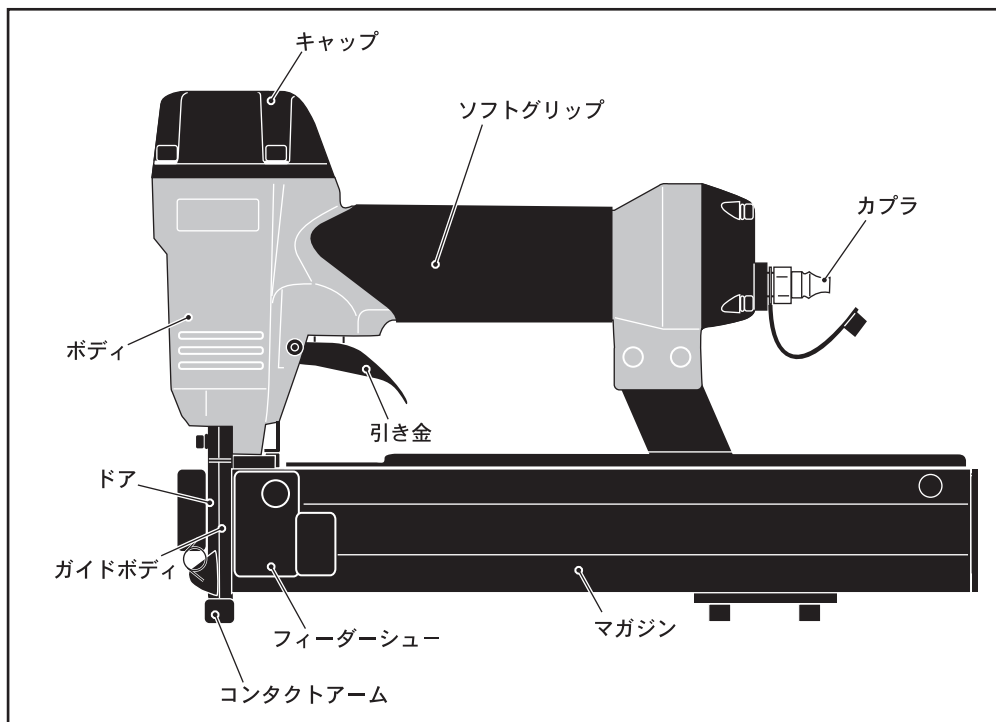
取扱説明書及び 安全作業の手引

モデル PW150 エア釘打機 (ステープル)



センコエア釘打機をご購入戴き誠にありがとうございます。

本機は住宅内装仕上用その他木工作業用に設計されたものです。本機の使用上の安全と正しい作業のため、取扱説明書をよくお読みください。



安全上のご注意

現場の使用者・作業の方へ

- ・現場の責任者は、この取扱説明書に含まれている「安全作業の手引き」やその他の説明に作業者が従うよう指導してください。
- ・本機を使用するすべての人々にこの取扱説明書が見える様一定の場所へ保管してください。
- ・子供の手の届かないところへ保管してください。

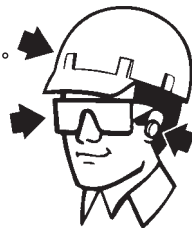
目次

	ページ
安全作業の手引き -----	3
使い方 -----	5
日々の点検 -----	6
釘の打ち方 -----	7
エア釘打機（ステープル）仕様 -----	7
故障と対策 -----	8

本機をご使用になる前に「安全作業の手引き」「安全にご使用いただくために」を充分読んでください。
 子供の手の届かないところへ保管してください。



必ず安全メガネ、耳栓及びヘルメットなど、保護具をしてください。



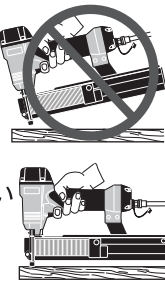
酸素、炭酸ガスは絶対に使用しないでください。
 爆発の恐れがあります。



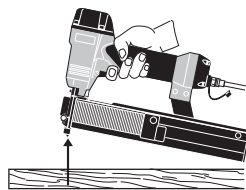
釘打機には必ず釘が入っているという想定で、いつも注意して取扱ってください。



釘が飛んで怪我のもとになりやすいので、打込み済の釘の上から、又浅い角度での釘打はしないでください。
 硬すぎる材料に釘打する場合は、完全に打込めない場合もあります。



跳ね返りが起きる事もありますので、機体をしっかりと押さえて使用してください。



引き金、ロックレバー、及びスプリングがこわれて動かなくなったときは、絶対にその釘打機を使用しないでください。
 引き金、ロックレバーの改造などは絶対にしないでください。



コンタクトアームが本来の目的どおり機能するか使用前に点検する。
 故障の場合は操作しないこと。

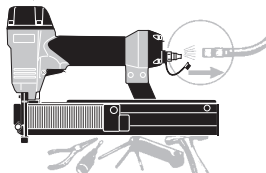
安全作業についてのラベルの貼られていない釘打機は使用しないでください。もし、ラベルを紛失あるいは損傷した場合はお買上げの販売店または、リョービ販売営業所に連絡の上、新しいラベルをつけてください。

- | | | |
|--|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 作業には必ずこのラベルと取扱説明書をお読みください。注意事項を守り取り扱ってください。使用後本人や他人に多大な危害を生ずることはありません。 2. 必ず作業中は保護メガネ（サイドカバー付）を装着してください。 3. 磨盤、二酸化炭素発生部が汚染しては決して洗わないでください。使用直後に全身を洗浄する場合があります。常に清潔な服装し汚染された圧縮空気（最大0.8MPa）を使用してください。 | | <ol style="list-style-type: none"> 4. 釘打機には必ず釘が入っているという想定で、必ず確認して取り扱ってください。空・半撃は引金を引くと釘が発射する機構になっています。 5. 本機を改造して使用しないでください。 6. アースや接地線、接地端子が露出、故障時は本機を自分あるいは他人に近づけないでください。 7. 磨盤が破裂に合わせ、ヘルメット、耳栓、防護メガネなどの保護具を使用してください。 |
|--|--|---|

足場の不安定な場所での作業は避けてください。



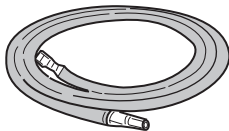
釘打機の点検・修理時、つまった釘を取除く時、他の場所へ移動させる時、または他の人に手渡すときは必ずエアホース（カブラ）をはずしてください。



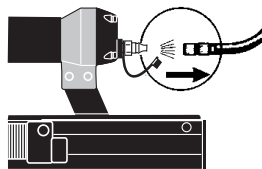
0.8MPa(8.3気圧)以上の高圧で使用しないでください。



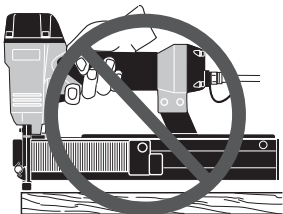
使用エアホースは、最低1MPa(10.3気圧)、あるいは使用エア圧の1.5倍の空気圧に耐えられるものを使用してください。



カブラからエアホースを取外したとき、工具内のエアが抜け出るカブラを使用してください。



材料の端部分への打込みは材料が飛んだりする恐れがありますので、際打ちはしないでください。

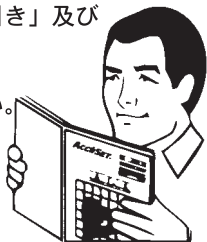


人体に向けて釘を絶対に発射しないでください。

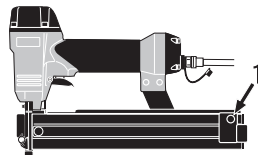


釘の装填方法

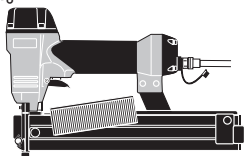
- 1) 本機をご使用になる前に必ず「安全の手引き」及び「安全にご使用いただくために」を読んでください。



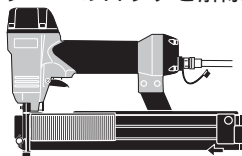
- 2) フィーダーシュー - を後方にいっぱいまでスライドさせ、ロックボタン (図の矢印1) でロックします。



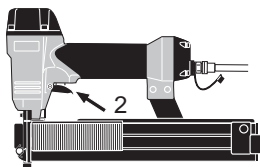
- 3) マガジンにステープルを入れてください。純正のセンコ製ステープルのみをご使用ください。



- 4) パネで急にフィーダーシュー - が戻らないようにフィーダーシュー - を指で支えながら、ロックボタンを押してフィーダーシュー - のロックを解除します。



- 5) ステープルの装填時、引き金 (図の矢印2) に指を掛けないように注意してください。

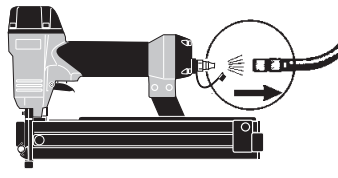


釘づまりが起きた場合

- 1) 本機をご使用になる前に必ず「安全の手引き」及び「安全にご使用いただくために」を読んでください。

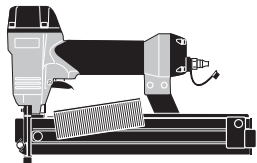


- 2) 釘づまりを起こしたらまず、エアホース (カブラ) をはずしてください。

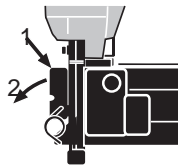


釘づまりが起きた場合

3) フィーダーシュ - をロックボタンでロックし、マガジン内のステープルを取り出してください。



4) ラッチ (図の矢印 1) をラジオペンチ等でつかんで矢印 2 の方に引いてバネをはずします。

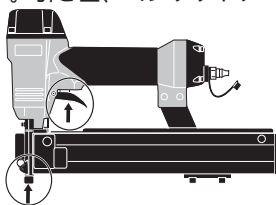


5) ドアを図のように開きつまったステープルをラジオペンチ等で抜き、ドアを閉めてバネをかけ、ラッチをラジオペンチ等でつかんで元に戻します。

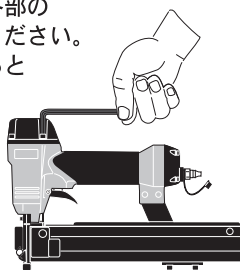


日々の点検

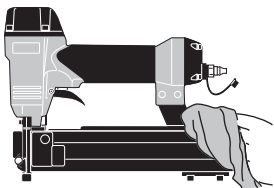
エアホースをはずした状態で引き金、コンタクトアームがスムーズに動くことを毎日点検してください。引き金、コンタクトアームがくっつきたり引っかかる場合は使用しないでください。



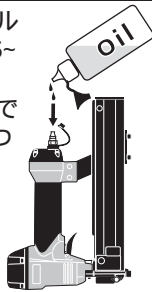
ご使用前には必ず各部のネジ類を点検してください。ネジがゆるんでいると使用上危険で、故障の原因となります。



毎日釘打機をきれいにふいて、破損していないかよく点検してください。Oリングやその他部品を損傷させる恐れがありますので非可燃性の溶剤は使用しないでください。



センコエア釘打機用オイルを空気口に1日に2回、5~10滴注入してください。他のオイルは使用しないでください。Oリングを傷つける原因になります。



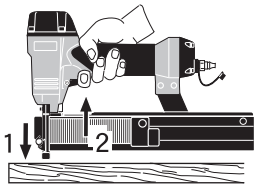
釘の打ち方

安全第一

本機を安全に使用していただく為常に「安全作業の手引き」「安全にご使用いただくために」に従って作業してください。

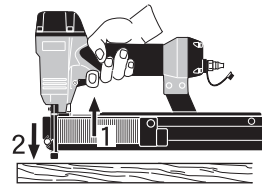
(単発打)

作業面に釘打機を水平にしてコンタクトアームを押し当てた状態で引き金を引いてステープルを発射します。



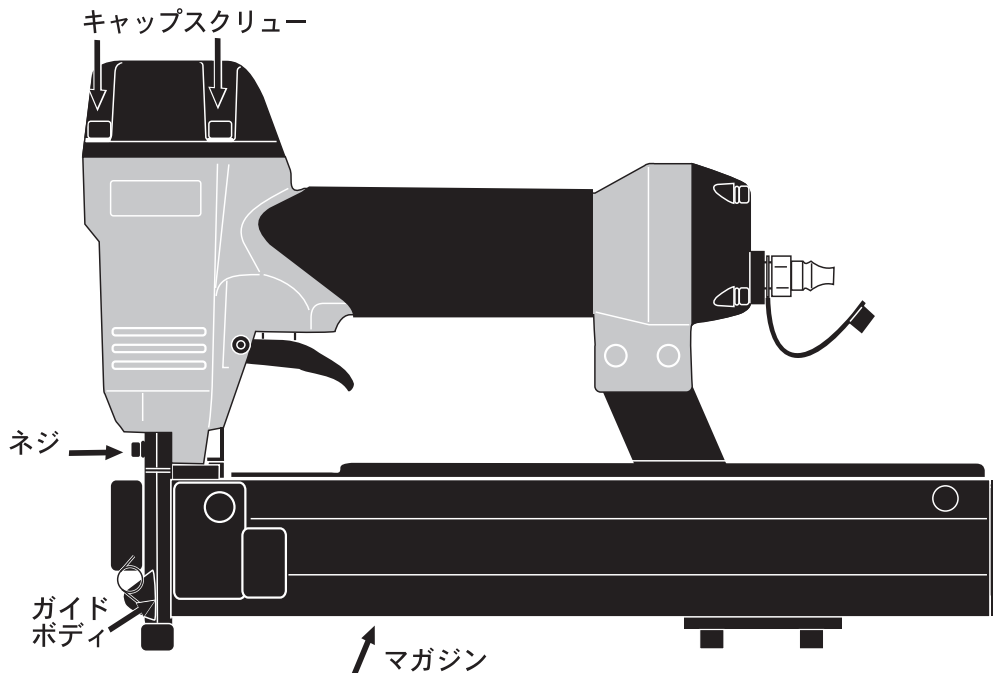
(連発打)

引き金を引いた状態で、作業面にコンタクトアームを押し当ててステープルを発射します。



エア釘打機 (ステープル) 仕様

モデル	PW150
使用ステープル幅	25.4mm
使用ステープル長さ	13・16・20・22・25・32・38mm
ステープル装填数	160本
発射方式	連・単発(コンタクトアーム式)
使用空気圧	0.49~0.78MPa(5~8気圧)
使用ホース	内径6mm以上
機体寸法	長さ362mm×幅76mm×高さ238mm
質量	2.4kg
付属品	オイル(30ml)、六角棒レンチ3.4mm



故障	対策
キャップ廻りからエアもれ。	キャップスクリューを点検、増締め。
引き金を引いても反応しない。	空気圧を点検。
ボディの下部からエアもれ。	ネジの点検、増締め。
ドライバーの戻りが悪い。	機体を清掃。
打込み力が弱い。	空気圧を点検。
釘の送り不具合。	機体、マガジン部を清掃。
釘づまり。	機体、マガジン部、ガイドボディ部を清掃。
<p>上記対策で直らない場合や、その他の不具合の場合には、お買い上げ販売店または最寄りのリョービ販売営業所にお問い合わせの上、点検修理をご依頼ください。</p>	

安全にご使用いただくために

このたびは、センコ商品をお買い上げいただきありがとうございます。

安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの「安全にご使用いただくために」および機械の「取扱説明書」を最後までよくお読みください。

使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文の「△警告」、「△注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「（注）」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

安全上のご注意

- ・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業者以外、工具やエアホースに触れさせないでください。
 - ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
4. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
5. 作業に合った工具を使用してください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 保護めがねを使用してください。
 - ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、周囲の状況に合わせ、ヘルメット、耳栓、防じんマスクなどの保護具を使用してください。
8. エアホースを乱暴に扱わないでください。
 - ・ エアホースを持って工具を運んだり、エアホースを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
9. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
10. 工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・ 安全に能率よく作業をしていただくために、注油や付属品の交換は、取扱説明書に従い行ってください。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスがつかないようにしてください。
11. 次の場合は、エアホースを釘打機から抜いてください。
 - ・ 使用しない、または修理する場合。
 - ・ ネイル、ステーブルなどを交換する場合。
 - ・ 各部の調整をする場合、その他危険が予想される場合。
12. 乾燥したきれいな圧縮空気のみをご使用ください。
 - ・ 空気以外の高圧ガスを使用しますと、レギュレーターを凍結されたり、潤滑油との接触、またはネイル打込み時の火花などにより、爆発する恐れがあります。

⚠ 警 告

13. 指定の圧力範囲でご使用ください。
 - ・銘板、取扱説明書に指定された範囲の圧力より高い圧力を接続すると、本体の破壊によりけがをすることがあります。
14. 使用前に各ネジ類がゆるんでいないか、必ず確認してください。
 - ・締付けが不完全な状態で使用しますと、機械が破損してけがの原因になります。
15. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
16. 損傷した部分がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。
17. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
18. 工具の修理は、専門店で依頼してください。
 - ・本製品は、改造して使用しないでください。
 - ・修理は、必ずお買い上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

エア釘打機ご使用に際して

先にエア工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、エア釘打機をご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警 告

1. いかなる場合にも、射出口を人体には向けないでください。
 - ・ けがの原因になります。
2. 保護めがねを使用してください。
 - ・ 排気圧により舞上がった粉じんや、打損じにより跳返った釘、連結用ワイヤーが目に入る恐れがあります。
 - ・ 保護めがねは、JIS規格で認められたもの、またはそれに準ずるものをご使用ください。
3. 薄板、柔らかい板に釘を打込む場合は、裏側に人、身体の一部がないことを確認した上で作業を行なってください。
 - ・ 釘がつき抜けることがあり、けがの原因になります。
4. 材料の端には打たないでください。
 - ・ 釘がそれたり、木材片が飛散することがあり危険です。
5. 一度打込んだ釘の上に打込まないでください。
 - ・ 釘が跳返ったり、それる恐れがあり、けがの原因になります。
6. 打込み終了時や、節など当たった場合に、機体が打込みの反発で跳返ることがありますので、顔などを機体にあまり近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
7. 作業を行なわない時、釘装填、点検および修理の際には、必ずエアカプラを外してください。
 - ・ 思わぬ釘の打出しによる、けがの原因になります。
8. 取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている釘以外は使用しないでください。
 - ・ 釘詰まりや思わぬ事故による、けがの原因になります。
9. エアホース接続の時は、射出口を人に向けたり、引き金に指をかけたりしないでください。
 - ・ けがの原因になります。

注 意

1. 安全な作業を行なうために、ヘルメット、作業シューズを使用するなど、周囲の環境に合わせた保護具を整えてください。
2. 使用後は必ず、釘を全部抜取って保管してください。
3. 釘打込み時以外は、引き金に触れないでください。
 - ・ けがの原因になります。

発売元

リョービ販売株式会社